



上 冊	
凡 例	
第一章 緒 論	1
第一節 研究動機與目的.....	2
第二節 研究方法與步驟.....	5
第三節 〈武王踐阼〉竹簡形制	7
第四節 〈武王踐阼〉的其他研究.....	12
第二章 〈武王踐阼〉簡文考釋	21
第一節 甲本「武王問道」	22
第二節 甲本「師上父告之以丹書」	123
中 冊	
第三節 甲本「武王鑄器銘以自戒」	155
下 冊	
第四節 乙本「武王問道於太公」	321
第五節 乙本「太公告以丹書之言」	325
第三章 結 論	345
第一節 〈武王踐阼〉釋文與語譯.....	345
第二節 本論文的研究成果.....	348
第四章 餘 論	357
第一節 楚簡本和今本的比較.....	357
第二節 探討〈武王踐阼〉的版本和價值	379
第三節 〈武王踐阼〉簡本書手探究.....	403
第四節 〈武王踐阼〉簡本韻讀探究.....	414
參考文獻	419
附錄一 楚簡〈武王踐阼〉	431
附錄二 今本（文淵閣四庫全書版）	447
附錄三 宋王應麟〈踐阼篇集解〉元代刊本	449
跋 語	461